

トキが舞う出雲を目指して

人とトキ 野生生物との共生

環境にやさしい出雲の挑戦

出雲市が取り組むトキ保護増殖事業は、地域づくり、まちづくりにつながるものです。出雲の自然を舞台に、トキを環境のシンボルとすることで、「自然環境」の保全・再生・創造への意識の高まりや「産業・文化・教育」などの相乗効果を生み出します。これらを広げていくことで『まちづくり』を推進していきます。上記の「出雲市のビジョン」は、代表的な取り組みです。行政と市民の知恵と力をつなぎあわせれば、もっと多くの取り組みに広げることができま



トキ保護増殖事業についてのおたずねは
農林政策課
☎2169996

出雲市のビジョン

トキをシンボルとして人と自然が共生できる地域づくりを推進します。



トキ保護増殖事業

- 人間が絶滅に追いやったトキを、人間の責任で保護増殖する
- 種の保存に関し、国際的な貢献を行う
- トキをはじめとする野生動植物にやさしい、豊かな自然環境を創造する
- 出雲の暮らし・生活を輝かせ、誇りを抱く

「自然環境」の保全・再生・創造

- 「森」の保全・再生・活用
- 「水辺」の保全・再生・活用
- 「環境保全型農業」の推進
- 出雲らしい「景観」の創造
- 廃棄物及びCO2削減の推進

「産業・文化・教育」との相乗効果

- 環境保全型農業などの安全・安心なブランドの確立
- 環境にやさしい産業の推進
- 自然と文化の調和、伝統文化の継承
- 次代を担う子どもたちの環境教育



2007トキと花のフェスティバルを開催「エサづくり体験コーナー」

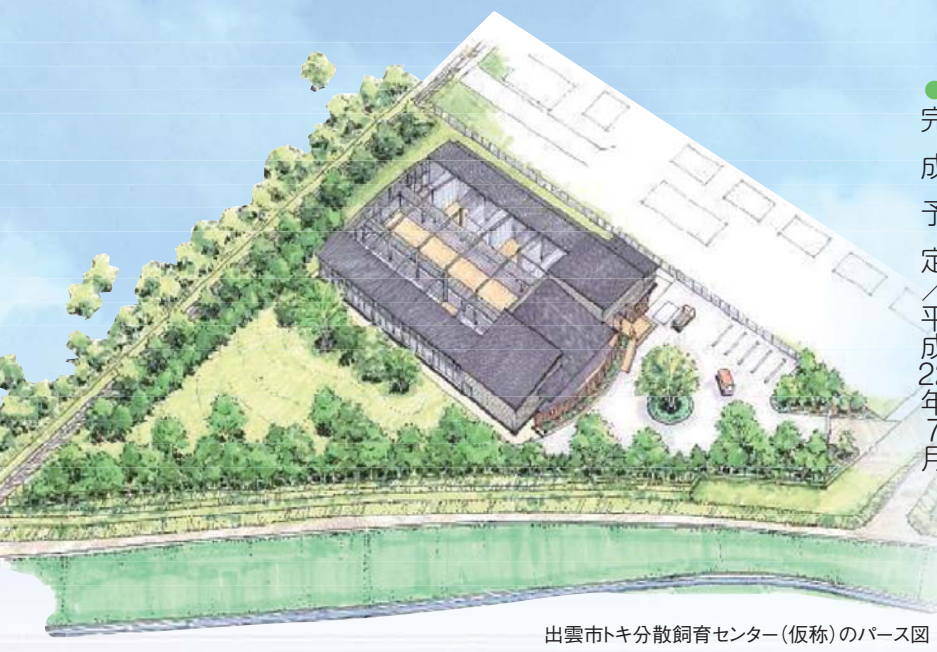
「環境の世紀」と呼ばれる今日、市民と行政が協働し「環境にやさしい出雲」のまちづくりを推進していくことは、世界に誇れる出雲を発信していくことにつながります。皆さんとともに、出雲に住み、生活していることを誇りに思えるまちづくりに挑戦していきます。



2009くらしの中の環境フェアに出展

出雲市トキ分散飼育センター(仮称)の概要

- 建設地／出雲市西新町2丁目1039-3
- 敷地面積／約5,000㎡
- 建物面積／約1,312㎡
(ケージ部分1,040㎡、事務室及び作業室等272㎡)
- ※ケージとは、鳥の飼育スペースで、いわゆる鳥小屋にあたる部分です
- 整備費／2億3,700万円
- 完成予定／平成22年7月



出雲市トキ分散飼育センター(仮称)のパース図

※防疫上、一般への公開は行いませんが、飼育員や獣医師が観察するためのモニター映像を、トキ学習コーナー等で放映することによって、トキの生活を見ていただけるよう工夫したいと考えています。

- 主な施設内容
 - ・繁殖ケージ：繁殖ペアが通常生活するケージ。1ケージに2羽(雄・雌各1羽)
 - ・孵卵室：巣から採卵し、人工的に孵化させるための部屋
 - ・育雛室：孵化直後のヒナを飼育し、立ち上がるまで成長させるための部屋
 - ・育雛ケージ：育雛室で成長したヒナを、一定期間、飼育するためのケージ
 - ・多目的ケージ：大きくなったヒナが通常生活するケージ
 - ・治療室、リハビリケージ：病気や怪我をしたトキを治療するための部屋とケージ
 - ・事務室：飼育員及び獣医師が事務をする部屋
 - ・作業室：エサづくりなど、飼育に関する様々な作業を行う部屋

トキ分散飼育の担い手



鶴原悠子 飼育員

まだまだ力不足ではありますが、多くの経験を積んでいきたいと思ひます。



伊藤豊洋 主任飼育員

今までの経験を活かし、更なる飛躍を目指して取り組んでいきたいです。



トキ学習コーナーのイメージ図

現在、整備箇所は未定ですが、トキについて学習できるコーナーを整備します。トキの解説パネル、はく製、骨格標本、卵の標本を展示するとともに、飼育中のトキや巣の様子を見ることができるよう大型モニターを設置します。次代を担う子どもたちの環境学習などに役立てたいと考えています。

トキ学習コーナー(仮称)の整備